

第5期経営改善計画

〔平成26年度～平成30年度〕

平成26年度 実績状況報告書

〔平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで〕



公益財団法人 神奈川県下水道公社

目 次

I	経営改善計画取組み項目	2
II	平成 26 年度の取組み実施内容	4
III	計画の進行管理（PDCA サイクルによる見直し）	9

第5期経営改善計画 平成26年度実績状況報告

近年、全国的に下水道の維持管理分野における民間活力の活用とコストの削減を目指した包括的民間委託の導入や老朽化が進む下水処理施設・設備への対応など、公社を取り巻く経営環境が大きく変化してきている。

これらの状況を踏まえ、当公社では、平成26年度から5年間で実施する「第5期経営改善計画（平成26から30年度）」を策定し、さらなる運営の健全化、効率化に向け経営改善計画を推進していくこととしました。

平成26年度は第5期経営改善計画の初年度であり、公社の経営方針に基づき、流域下水道の維持管理に関する業務、また、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究などを行い、県及び市町の下水道事業に協力し改善項目に取り組みました。

その実績状況については以下のとおりでした。

I 経営改善計画取組み項目

第5期経営改善計画は、平成26年度から平成30年度までを計画期間とし、次の5分類、49項目の取組み内容でスタートしました。

分類	改善項目
1 効率的で安定した事業の運営	
(1) 効率的な維持管理による処理費の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ① 包括的民間委託の導入 ② 運転管理に関する点検回数の見直し ③ 広場管理人員の削減 ④ 草花管理業務の見直し ⑤ 脱臭用活性炭の一括発注 ⑥ 水処理等監視制御設備点検委託(相模川流域)の一括発注 ⑦ 一括発注の推進 ⑧ 水質分析の一部集約 ⑨ オーバーホールの周期の延伸 ⑩ 汚水ポンプの効率的な運用 ⑪ 最初沈殿池における効率的な運用 ⑫ 老朽化設備の休止による維持管理費用の削減 ⑬ 産業医設置の見直し ⑭ 公用車の軽自動車導入 ⑮ 振込方法の改善 ⑯ 入札制度改革の推進
(2) 施設の老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"> ⑰ 設備診断や施設評価 ⑱ 現有施設（機器等）の電子台帳の充実
(3) 安全・安心な下水道	<ul style="list-style-type: none"> ⑲ 事業継続計画（BCP）の策定 ⑳ 水防、水質事故等の配備体制の充実 ㉑ 水防、水質事故等のマニュアルの検証 ㉒ 防災備蓄資器材の見直し ㉓ 実践に即した訓練実施 ㉔ 訓練を通し「使えるマニュアル」に見直し

分 類	改善項目
2 利用者サービスの向上と経営基盤の強化	
(1) 技術支援体制の充実 (アシスト下水道)	②⑤ 関連市町への技術支援 ②⑥ 県、市町職員との定期的な技術交流 ②⑦ 市町下水道担当職員への研修会を開催 ②⑧ 事業場の排水担当者への研修会の開催
(2) 効率的な組織体制・人材育成・調査研究の充実	②⑨ 組織運営体制の見直し ②⑩ 下水道維持管理に精通した人材育成 ②⑪ 公社職員の幹部への登用 ②⑫ 事務職と技術職の交流 ②⑬ 電子決裁の導入 ②⑭ 下水道技術開発のための民間企業との共同研究の取組み及び学術機関との連携 ②⑮ 維持管理上の課題や問題の解決 ②⑯ 長期的視点に立った研究
3 水環境の向上と地球温暖化対策	
(1) 良好な水質の確保と水環境の向上	③⑦ 運転の創意工夫、新技術の導入等の検討
(2) 地球温暖化対策と環境対策	③⑧ 臭気対策への取組み ③⑨ 焼却灰のリサイクル ③⑩ 廃棄文書等のリサイクル ③⑪ 廃熱の利用等
(3) 省エネルギー対策への取組み	③⑫ 最新の技術や実績を調査し、導入に向け県へ技術提案
4 地域・県民との連携による普及啓発	
	③⑬ 下水道ふれあいまつりの拡充 ③⑭ 夏休み下水道教室の拡充 ③⑮ 出張教室の拡充 ③⑯ 市町開催環境イベントへの積極的参加 ③⑰ インターネットを活用した広報活動
5 快適に安心して働ける職場環境	
	③⑱ メンタルヘルスケア ③⑲ リフレッシュ休暇導入の検討

II 平成 26 年度の取組み実施内容

平成 26 年度に取組んだ分類ごとの主な実施内容は、次のとおりです。

〔取組み実施内容〕

1 効率的で安定した事業の運営	
(1) 効率的な維持管理による処理費の抑制	創意工夫により効率的に運転管理を行い処理費を抑制するため、一部の処理場への包括的民間委託の導入、施設運用の効率化、委託業務内容や設計基準の見直し、また、業務の一括発注などを行い、見直しや工夫に取り組みました。
(2) 施設の老朽化対策	施設台帳システムの再構築を行い、機器・設備の状態を把握するための健全度診断の手法として、施設台帳システムに機能を追加し、施設評価業務の効率化を図りました。
(3) 安全・安心な下水道	事故や災害発生時のリスクを想定して、迅速に対応し被害を最小にして処理を継続するための体制の強化や訓練を実施し、併せて各種マニュアルの見直しを図りました。 また、「公社版 BCP」策定のため、検討会を立上げて内容の検討を行いました。

2 利用者サービスの向上と経営基盤の強化	
(1) 技術支援体制の充実 (アシスト下水道)	市町が行う流域関連公共下水道の特定事業場等監視・指導や施設検査などの技術支援を行いました。 また、県内下水道担当職員の技術力向上を目指し研修会や意見交換を行い、併せて、事業場排水担当者向けに除害施設の管理や排水基準の遵守等についての研修会を開催しました。
(2) 効率的な組織体制・人材育成・調査研究の充実	人員配置の見直しを行い、より効率的な組織体制とし、若い職員には OJT などの研修を通して経験やノウハウを積みませました。 また、維持管理上の課題の整理や長期的視点に立った研究を実施し、今後の維持管理に役立ち経費縮減へと繋げていくための共同研究の取組みに向けて準備を行いました。

3 水環境の向上と地球温暖化対策	
(1) 良好な水質の確保と水環境の向上	電力使用量に配慮しながら、全センターで硝化促進運転を継続し良好な放流水質を確保して、水環境の向上へ貢献しました。
(2) 地球温暖化対策と環境対策	発生した焼却灰の全量リサイクルや腐食性ガスによる設備停止の予防、機器の延命を図るための総合的な臭気対策に取り組みました。 また、事務用紙や廃棄文書等のリサイクルに取り組み、環境への配慮に努めました。
(3) 省エネルギー対策への取り組み	電力削減などの省エネルギー対策が固定化し、更なる削減が厳しくなっているなか、省エネルギーを促進するため、維持管理における身近な問題点を整理し、最新技術等の情報収集を行いました。

4 地域・県民との連携による普及啓発	
	地域に親しまれる下水道や下水道の「みえる化」を目指し地元自治会や地元業者等と協働した下水道ふれあいまつりの企画・運営を行いました。 また、下水道教室の実施方法等を工夫したり、市町が開催する環境に関するイベントへ積極的に参加しました。

5 快適に安心して働ける職場環境	
	安心して働ける職場環境作りのため、メンタルヘルスケアの研修会やリフレッシュ休暇の導入を行いました。

〔平成26年度実績集計表〕

表中の番号は「第5期経営改善計画 6 具体的施策」で数値目標を定めた項目で、平成26年度の実績集計は次のとおりです。

○経費縮減の数値目標に対する取組み結果

1 効率的で安定した事業の運営							
(1) 効率的な維持管理による処理費の抑制							
項目	縮減額（単位：千円）						
	年度 目標 実績 達成率	26	27	28	29	30	計
① 包括的民間委託の導入	目標	△20,035	△20,035	△20,035	△20,035	△20,035	△100,175
	実績	△20,035					△20,035
	達成率	100%					20%
② 運転管理に関する点検回数の見直し	目標	△29,100	△29,100	△29,100	△25,100	△25,100	△137,500
	実績	△29,100					△29,100
	達成率	100%					21%
③ 広場管理人員の削減	目標	△3,499	△3,499	△3,499	△3,499	△3,499	△17,495
	実績	△3,774					△3,774
	達成率	108%					22%
④ 草花管理業務の見直し	目標	△1,500	△1,500	△1,500	△1,500	△1,500	△7,500
	実績	△1,500					△1,500
	達成率	100%					20%
⑤ 脱臭用活性炭の一括発注	目標	△9,707	△9,707	△9,707	△9,707	△9,707	△48,535
	実績	△10,520					△10,520
	達成率	108%					22%
⑥ 水処理等監視制御設備点検委託(相模川流域)の一括発注	目標	△3,600	△3,600	△3,600	△3,600	△3,600	△18,000
	実績	△3,990					△3,990
	達成率	111%					22%
⑧ 水質分析の一部集約	目標	△348	△348	△348	△348	△348	△1,740
	実績	△348					△348
	達成率	100%					20%

項目	縮減額（単位：千円）						
	年度 目標 実績 達成率	26	27	28	29	30	計
⑨ オーバーホールの周期の延伸	目標	△6,070	△9,800	△15,160	△19,850	△23,790	△74,670
	実績	△6,410					△6,410
	達成率	106%					9%
⑩ 汚水ポンプの効率的な運用	目標	△4,096	△4,096	△4,096	△4,096	△4,096	△20,480
	実績	△3,684					△3,684
	達成率	90%					18%
⑪ 最初沈殿池における効率的な運用	目標	△57	△57	△57	△57	△57	△285
	実績	△84					△84
	達成率	147%					29%
⑫ 老朽化設備の休止による維持管理費用の削減	目標	△22,000	△8,663	△11,995	△16,924	△8,654	△68,236
	実績	△22,000					△22,000
	達成率	100%					32%
⑬ 産業医設置の見直し	目標	△720	△720	△720	△720	△720	△3,600
	実績	△720					△720
	達成率	100%					20%
⑭ 公用車の軽自動車導入	目標	△70	△120	△120	△120	△120	△550
	実績	△117					△117
	達成率	167%					21%
⑮ 振込方法の改善	目標	△316	△316	△316	△316	△316	△1,580
	実績	△95					△95
	達成率	30%					6%
縮減額計	目標	△101,118	△91,561	△100,253	△105,872	△101,542	△500,346
	実績	△102,377					△102,377
	達成率	101%					20%

○経費縮減以外の数値目標に対する取組み結果

1 効率的で安定した事業の運営							
(2) 施設の老朽化対策							
項目	年度	26	27	28	29	30	計
⑰ 設備診断や施設評価	目標	10%	30%	50%	75%	100%	100%
	実績	10%					10%
(3) 安全・安心な下水道							
項目	年度	26	27	28	29	30	計
⑲ 事業継続計画(BCP)の策定	目標	30%	100%	—	—	—	100%
	実績	30%		—	—	—	30%

3 水環境の向上と地球温暖化対策							
(2) 地球温暖化対策と環境対策							
項目	年度	26	27	28	29	30	計
⑳ 焼却灰のリサイクル	目標	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	100%					100%

4 地域・県民との連携による普及啓発							
項目	年度	26	27	28	29	30	計
④④ 夏休み下水道教室の拡充	目標	3回	3回	3回	4回	4回	17回
	実績	3回					3回
④⑤ 出張教室の拡充	目標	21回	21回	21回	22回	22回	107回
	実績	21回					21回
④⑥ 市町開催環境イベントへの積極的参加	目標	6回	6回	6回	6回	6回	30回
	実績	10回					10回

Ⅲ 計画の進行管理（PDCA サイクルによる見直し）

1 進行管理

計画の円滑な推進を図るため、各項目の取組み結果について PDCA サイクルによる継続的な見直しを行うことを義務付けています。

計画の実施にあたっては、計画〔Plan〕に基づき実行〔Do〕し、取りまとめた結果について評価〔Check〕し、更なる改善〔Action〕に取組みました。

2 評価〔Check〕

平成 26 年度の取組み結果に関する評価は、次のとおりです。

(1) 経費縮減に関する取組み

経費縮減に関する取組み 14 項目のうち 12 項目で目標を達成し、2 項目で目標を達成できませんでした。平成 26 年度全体の経費縮減額は、目標額に対して達成率 101%となり目標を達成することができました。

〔未達項目〕

目標を達成出来なかった項目及び理由は、次のとおりです。

取組み項目名	取組み内容	目 標	未達理由
		実 績	
		達成率	
⑩ 汚水ポンプの効率的な運用	柳島及び酒匂管理センターの汚水ポンプのポンプ井の水位を上げて運転し、汲み上げる水の高さを小さくすることで使用電力量を少なくし経費の縮減を図ります。	△4,096 千円	ポンプ井の水位を上げて運転するのは晴天時運転を条件としていますが、降雨日数が多かったことや施設工事により制約を受けたことによる。
		△3,684 千円	
		90%	
⑮ 振込方法の改善	支払業務において、振込用紙を使用した振込方法から、振込手数料が安価な電子データを用いた振込方法に変更することにより経費の縮減を図ります。	△316 千円	金融機関との手続きに時間を要し、実施期間が短くなったことによる。
		△95 千円	
		30%	

(2) 経費縮減以外の取組み

効率的な組織体制、施設の老朽化対応、危機管理体制の強化、環境配慮への取組み、流域市町への技術支援及び効果的な普及啓発活動などに努めました。

3 改善【Action】

目標達成にいたらなかった一部の項目について、次のとおり改善を検討しました。

取組み項目名	取組み内容	改善内容
⑩ 汚水ポンプの効率的な運用	柳島及び酒匂管理センターの汚水ポンプのポンプ井の水位を上げて運転し、汲み上げる水の高さを小さくすることで使用電力量を少なくし経費の縮減を図ります。	雨天時溢水のリスク回避に努めながら継続的にポンプ井を上げた運転に取り組めます。
⑮ 振込方法の改善	支払業務において、振込用紙を使用した振込方法から、振込手数料が安価な電子データを用いた振込方法に変更することにより経費の縮減を図ります。	振込方法の改善は平成 26 年度に達成しました。

4 PDCA サイクルによる見直し結果（平成 26 年度）

第 5 期経営改善計画は、平成 26 年度が 5 年計画の初年度であり、2 つの項目については目標額を達成できませんでしたが、初年度の全体としての経費縮減額は達成することができました。次年度についても、各項目の達成に向け取り組んでまいります。

- 第5期経営改善計画の初年度である平成26年度で取組んだ項目は、次表の49項目であり、来年度以降もこの項目を基本として取組んでまいります。

分 類	改善項目
1 効率的で安定した事業の運営	
(1) 効率的な維持管理による処理費の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ① 包括的民間委託の導入 ② 運転管理に関する点検回数の見直し ③ 広場管理人員の削減 ④ 草花管理業務の見直し ⑤ 脱臭用活性炭の一括発注 ⑥ 水処理等監視制御設備点検委託(相模川流域)の一括発注 ⑦ 一括発注の推進 ⑧ 水質分析の一部集約 ⑨ オーバーホールの周期の延伸 ⑩ 汚水ポンプの効率的な運用 ⑪ 最初沈殿池における効率的な運用 ⑫ 老朽化設備の休止による維持管理費用の削減 ⑬ 産業医設置の見直し ⑭ 公用車の軽自動車導入 ⑮ 振込方法の改善 ⑯ 入札制度改革の推進
(2) 施設の老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"> ⑰ 設備診断や施設評価 ⑱ 現有施設（機器等）の電子台帳の充実
(3) 安全・安心な下水道	<ul style="list-style-type: none"> ⑲ 事業継続計画（BCP）の策定 ⑳ 水防、水質事故等の配備体制の充実 ㉑ 水防、水質事故等のマニュアルの検証 ㉒ 防災備蓄資器材の見直し ㉓ 実践に即した訓練実施 ㉔ 訓練を通し「使えるマニュアル」に見直し

分 類	改善項目
2 利用者サービスの向上と経営基盤の強化	
(1) 技術支援体制の充実 (アシスト下水道)	②⑤ 関連市町への技術支援 ②⑥ 県、市町職員との定期的な技術交流 ②⑦ 市町下水道担当職員への研修会を開催 ②⑧ 事業場の排水担当者への研修会の開催
(2) 効率的な組織体制・人材育成・調査研究の充実	②⑨ 組織運営体制の見直し ②⑩ 下水道維持管理に精通した人材育成 ②⑪ 公社職員の幹部への登用 ②⑫ 事務職と技術職の交流 ②⑬ 電子決裁の導入 ②⑭ 下水道技術開発のための民間企業との共同研究の取組み及び学術機関との連携 ②⑮ 維持管理上の課題や問題の解決 ②⑯ 長期的視点に立った研究
3 水環境の向上と地球温暖化対策	
(1) 良好な水質の確保と水環境の向上	③⑦ 運転の創意工夫、新技術の導入等の検討
(2) 地球温暖化対策と環境対策	③⑧ 臭気対策への取組み ③⑨ 焼却灰のリサイクル ③⑩ 廃棄文書等のリサイクル ③⑪ 廃熱の利用等
(3) 省エネルギー対策への取組み	③⑫ 最新の技術や実績を調査し、導入に向け県へ技術提案
4 地域・県民との連携による普及啓発	
	④③ 下水道ふれあいまつりの拡充 ④④ 夏休み下水道教室の拡充 ④⑤ 出張教室の拡充 ④⑥ 市町開催環境イベントへの積極的参加 ④⑦ インターネットを活用した広報活動
5 快適に安心して働ける職場環境	
	④⑧ メンタルヘルスケア ④⑨ リフレッシュ休暇の普及